

大阪再生のためには 関西全域を脱んだ経済対策が必要

商工労働委で酒井 豊議員

大阪経済の再生と大阪都構想は別問題



商工労働常任委員会で松井知事に質問する酒井豊議員

大都市制度推進協議会、わが党委員と松井知事・橋下市長との間で大都市制度のあり方やなぜ大阪府を廃止し大阪府に編成しなす必要があるのかをめぐって白熱の議論が展開されました。

一方、この間、国会では8月に大阪府を廃止し新たに特別区を設置することができると法律が成立しました。

大都市制度推進協議会では、この点について再三にわたり議論が行われましたが、結局、松井知事・橋下市長からは未だに明確な回答がありません。

その点について再三にわたり議論が行われましたが、結局、松井知事・橋下市長からは未だに明確な回答がありません。

ちの役目だと考えています。

今日は平成24年9月定例議会・商工労働常任委員会での酒井 豊議員(福島区選出)の質疑の概要を報告します。

「酒井議員」都構想では大阪府の低迷は大阪府・市の二重行政に原因があるとしているが？

大阪経済の低迷の原因は

「酒井議員」都構想では大阪府の低迷は大阪府・市の二重行政に原因があるとしているが？

事者の所得は愛知・神奈川を抜き全国2位である。

また、東京一極集中と言われるが、実際の企業の移転調査によれば、実は関西各県での移動が全体の6割を占めている。

総合特区を切り札のように言っているが、総合特区や残された産業集積拠点が最大限に活用されても、実は想定される経済効果は五千億円に過ぎぬ。

大阪のGDP(府民総生産)は四十兆円、これによって大阪を元気にするのか。

都市間競争、経済競争というが、経済競争は行政のエリアで行われるのではない。大阪という狭い地域でなく、関西全域を見すえたもっとグローバルな産業政策を考えるべきである。

府民所得の低いのは職業従事者の比率が東京・神奈川・愛知に比べて大阪が低いのに原因があり、経済対策と住民課題である都市問題を混同すべきでない。

「商工労働部」関西広域連合で関西全域産業ビジョン2011を策定し、オール関西で取り組んでいる。

「酒井議員」このビジョンを見たが、各県の政策をまとめただけ

に過ぎぬ。大阪自身ももっと枠を超えた発想をすべき。また、過去に投資した京阪奈学研都市やせつかく招致してきた国立国会図書館のことも、今やすっぽり抜けてしまっている大阪のエリアの中だけのことを考えている。

「松井知事」私も全く同じ考えである。関西広域連合で経済政策も観光の連携もやっている。ただ、関西広域連合はあくまで連合、関西州という新しい行政の仕組みにつくりかえていきたい。その第一歩として、大阪から制度変更したいと思っている。

「酒井議員」成長戦略について、当時の橋下知事と随分議論した。私は大阪をどう再生させるかの成長戦略を持つべきだと提案したが、橋下さんは府市の制度変更が先、制度ができてから中身を考えるとという考え方があった。それはおかしいという話をしている。いろんな経過があった成長戦略ができた。

制度変更と総合特区だけで大阪は元気にならぬ、もっと政策を練り上げる不断の作業がいるのではないかと。

「松井知事」僕は制度と政策は並行してやるべきものと思っ

ている。いくらい政策を掲げてもそれを担える制度になっていない。関西二千万人の区域を一元化する制度を作るべきと思っ



プロフィール

〈酒井 ゆたか〉
昭和19年大阪府福島区で生まれる。福島小・下福島中・泉尾高校・関西学院大学法学部卒業。三洋電機(株)勤務を経て、大阪府議会議員。この間第86代府議会議員長をはじめ自民党大阪府連幹事長。現在、府議会商工労働常任委員、自民党府議団総会議長。
<http://sakaiyutaka.com>

大阪都から 関西州への矛盾

私たち自民党は、かねて大阪を建て直すためには、大阪だけでなく広く関西全域で広域的な地方行政を展開できるようにすることに力を傾注するべきであると主張してきました。特に経済の問題は行政の境界を越えた問題であり、大阪だけに矮小化した対策でなく、もっと関西全域をにらんだ経済対策こそ必要だと思っています。

関西州についての思いは松井知事も同じかもしれないが、関西州というのはこれまでの府県制度を廃止し、関西全域の広域行政をひとつにしよとする構想であり、あくまでも府県の廃止を前提にしています。

他の府県には府県の廃止を求め、大阪だけは大阪都として府県を残すというのでは他の府県の賛同は到底得られませんし、また逆に大阪都をなくすとすれば、大阪府がなくなりバラバラに小さくなった特別区だけの大阪で関西全域をリードしていくことなどおよそ不可能なことです。

こうした矛盾を抱えたまま、制度変更だけが進められることを私たちは大変危惧しています。

制度変更と特区だけで大阪再生ができるのか

「酒井議員」成長戦略について、当時の橋下知事と随分議論した。私は大阪をどう再生させるかの成長戦略を持つべきだと提案したが、橋下さんは府市の制度変更が先、制度ができてから中身を考えるとという考え方があった。それはおかしいという話をしている。いろんな経過があった成長戦略ができた。

制度変更と総合特区だけで大阪は元気にならぬ、もっと政策を練り上げる不断の作業がいるのではないかと。

「松井知事」僕は制度と政策は並行してやるべきものと思っ

ている。いくらい政策を掲げてもそれを担える制度になっていない。関西二千万人の区域を一元化する制度を作るべきと思っ

ている。いくらい政策を掲げてもそれを担える制度になっていない。関西二千万人の区域を一元化する制度を作るべきと思っ

ている。いくらい政策を掲げてもそれを担える制度になっていない。関西二千万人の区域を一元化する制度を作るべきと思っ

ている。いくらい政策を掲げてもそれを担える制度になっていない。関西二千万人の区域を一元化する制度を作るべきと思っ

ている。いくらい政策を掲げてもそれを担える制度になっていない。関西二千万人の区域を一元化する制度を作るべきと思っ

ている。いくらい政策を掲げてもそれを担える制度になっていない。関西二千万人の区域を一元化する制度を作るべきと思っ

●15歳以上人口に占める労働力人口と就業者の比率(平成23年)

